夕刊
いわき民報
発行所
平市田町 電176 381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

社會課を廢し 福祉事務所を設置

市會へ提出議案の大要

平市八月の定例市会は三十一日午後一時から開かれる、提出議案は既報の通り追加更正予算のほか市社会課が廃止となつてこれに替る平市福祉事務所設置条例の設定や平市公平委員会設置条例などがあり、一般会計の追加予算は四百八十九万一千七百十三円で本年度予算は総額一億四千二十九万六千三百八十二円となつた、提出議案の内容は大要次の通り

◇一般会計追加更正予算

【歳入】▼平衡交付金一・五〇〇・〇〇〇▼国庫支出金一・六五七・五六〇▼県支出金（減額一一・三四五（生活保護費負担金、農地委員会費委託料減額）▼寄附金三四〇・〇〇〇▼繰越金二・一六五・四九八▼雑収入三四〇・〇〇〇合計四・八九一・七一三

【歳出】▼役所費九五・九〇四（諸手当、恩給及隠退料）▼警察消防費二・三三二・二二七（警察費四八八・二二七営繕費一・八三四・〇〇〇でこれには防火水槽施設費一・二五〇・〇〇〇が含まれる）▼土木費七五・〇〇〇（都市計画費）▼教育費八七・〇〇〇（小学校費諸手当、上平窪公民館助成費）▼社会及労働施設費一・七九九・一五〇（第三・四半期の失業応急事業費等）▼保健衛生費二〇〇・〇〇〇（国体誘致運動費）▼産業経済費二八六・〇五〇（農林、商工費、農業委員会費）▼統計調査費一四・〇〇〇（個人企業経済調査費）▼諸支出金一二・三八二（恩給条例改正による増額）合計四・八九一・七一三

◇特別会計水道事業追加予算

【歳入】▼水道事業収入七〇〇・〇〇〇（給水工事費収入）▼使用料及手数料三二六・三三五（専用栓の水道使用料）合計一・〇二六・三三五

【歳出】▼水道事業費七八三・五六三（職員給、諸手当等）▼公債費二四二・七六二（元利償[illegible]三三五

修正と先決處分案

◇市有地使用料条例改正

二十六年四月一日から宅地一坪月額『三円以内』を『六円以内』に、公園地一坪月額『三円以内』を『六円以内』に、水面一坪年額『五十銭以内』を『五円以内』に改める

◇市職員恩給条例改正

国の恩給法の改正に伴い、平市でも同条例を一部改正し、隠退料を受ける者が四十才に満つる月迄全額、四十才に満つる月の翌月より四十五才に満つる月迄は十分の五、四十五才に満つる月の翌月から五十才に満つる月迄はその十分の三を停止する等

◇選挙管理委員会委員、公安委員の報酬額及費用弁償額支給条例改正

公平委員会が設置されるが委員長は報酬年額六千円、同委員四千円

◇専決処分について承認を求める件

▼上水道拡張事業費起債、三百万円▼上水道拡張事業費継続年期及支出方法を二十五年度八百万円、二十六年度七百五十万円、二十七年度四百五十万円（起債二百万円）とする▼本年度特別会計水道事業費歳入追加更正予算は予算額を使用料及手数料百万円増、市債百万円減とする▼短期資金として三百万円を上水道拡張事業費に充当のため資金運用部から借入れる▼災害耕地事業復旧費県貸付金四五五・〇〇〇▼雑収入九七・五〇〇（過年度収入）合計五五二・五〇〇（中塩農道、排水路災害復旧費上荒川溜池災害復旧費四五五・〇〇〇その他▼庶民住宅建築起債及償還方法の件は四百五十万円を資金運用部から市税及一般歳入を償還財源として借入れる

◇平市福祉事務所設置条例設定

社会事業法により同事業所を設け分掌事務を庶務、福祉、社会の三係を置き生活保護法及び身体障害者福祉法に定める事務のほか社会福祉事業法、民生委員法の施行に関する事務を行う

◇市分課条例改正

福祉事務所設置に伴い社会課を廃する

◇市職員定数条例改正

市長の補助職員、吏員『二〇一人』を『二〇〇人』に改める、選挙管理委員会の職員は議会事務局職員の場合、書記二人其の他の職員一人計三人、農業委員会の職員、書記六人とする

◇公平委員会設置条例設定

地方公務員法の完全な実施を確保し職員の利益を計るため同委員会を設置する同委員会の委員は非常勤とする

◇市有土地貸付の件

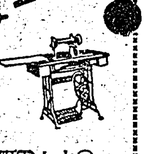
▼八幡小路二二、水道用地九一九坪をNHK平放送局に無償貸付ける▼八幡小路二二水道用地六五〇坪を福島地方検察庁に無償貸付する

◇瓦工場経営委託の件

市営瓦工場を小太郎町志賀金七郎氏に事業経営委託する現在は久保木啓一氏の経営となつてる

◇特別合計市競輪事業費歳出更正予算

【歳出】▼競輪費一五二・〇〇〇（走路手直、審判所増築等の営繕費）▼予備費一五二・〇〇〇減額、合計零で前回までの累計額三四・三九八・四〇〇

三菱ミシン

平市南町電九六〇
草野ミシン商會

自轉車レースは有望

重量擧げ平開催は決定

國體誘致の委員ら帰る

第七回国体の開会式は福島、陸上競技は宮城とこの程体協で決定をみたが地元平市では重量挙げ誘致決定のほかにアマチユア自転車競走を誘致するため実行委員が二十四日上京、二十七日帰平したが一行の永對孝夫氏はアマチユア自転車競走誘致の可能性は濃いと次の如く語つた

最初開場式を望んだ宮城が陸上競技を獲得するに至つたが、こうなると、アマチユア自転車競走を包含するだけの能力がなくなるので地元福島ではこの種目誘致に有利になる、それに宮城にはバンクの設備がないので平市は非常に有望となる、ロードレースもアスハルトでなくとも日本水素ー久ノ浜間で出来る、国体本部に清瀬理事長を尋ね、懇望して来たが近く遅沼県議長が非公式に宮城県知事とこの為の話合にいくと聞いている、室内遊戯は二中、三中の雨天体操場で出来てもフエンシング位で他は期待出来ない

想うまゝ

眞相はコウだ (4)

野澤むさし

磐毎七月二十七日〝噂の放送〟と題し二十九日の論ダンで交付金三百万円入つてホツと一息ついたのも束の間釜屋のセメント代六十万円払つて金庫は空ツボに成つて了つた。と又してもウソを作りデマ放送を為している。第一に交付金の三百万円はウソで五百三十万八千円である。根本会計課長の説明に依ると、釜屋へセメント代を払つたのは三月三十日、即ち前市長時代に払つたきりで、現在四十五万円のセメント代が借越しに成つているが、諸橋市長になつてから一回も支払つた覚えがないまた小借金の支払いに困るほど金庫が空ツボになつた事実もない。間違いのないよう確めて書いて貰いたいと迷惑がつている。この問題で強口氏は『或る請負人が金庫に金がないから市が払わない』といつて来たらしい。ところが実際のところ、この請負人は国庫の補助が来たら市役所で支払うという契約のもとに一冊入れているのだから市役所側が立替え払いする必要は無いし、市の方針は間違つていない。あの記事は確かに違つていた』と強口氏もデタラメ記事を是認している。

八月一日付一面トツプに〝敷地買収難のため宙ぶらりの市営住宅〝と題し、本年度の四十五戸建設に市当局が呑気にまだ着手していない。と住宅不足に悩む人々を扇動している。この問題で市当局は勿論、土木委員が如何に苦心しているかは、委員である強口氏も承知の筈だ。今年だけおくれているように宣伝しているが、前市長時代の庶民住宅が、年度が替つて八月も未という今日、なお未完成が沢山ある。この原因は、前市長時代に土地が決らず、年度を越えて着手した為であつた。折角抽選に当つた人々も入れないのが現況である。果して何れが市民に忠実か良識ある判断に俟つ。然も、市当局及び、土木委員が地主の諒解受けて土地交渉を進めている際〝小作人の態度強硬〟など小作人の反対を扇動している態度こそ正に住宅難にあえぐ人々の敵だ。

保存紙がないので日附がハツキリしないが『トバクの好きな鉄工場主の市会議員が、修繕してやると称して三十馬力のモーターを市役所の倉庫から持ち出し、自分の倉庫へ入れたまゝ帰つて来ない。砂利を喰つた市会議員の話は聞いたが、モーターを喰つた議員は初耳だ』という記事が出た。鉄工業関係の議員は吉田常太郎氏以外に居ないし、これは明かに吉田市議を諷刺したものと思うが、市役所に第一、卅馬力のモーターは無い吉田市議と市土木課の話を綜合すると北目方部の水田へ揚水しているポンプが不良で水が少しも揚らないと農民の代表が土木課へ陳情に来た。居合せた吉田市議はポンプ専門家であるから、早速現場へ行きポンプを調査した結果、二十馬力のモーターが故障のため十五馬力の出力より無いことが判明、これを献言したので市役所は四、五軒の業者から見積りをとり、二十馬力のモータを七万八千円とかに買収、古いモーターと取換えた結果、揚水が完全に成つて吉田市議が農民から感謝されている』というのである。吉田市議は北目の現場でモーターを見てやつたのみで、他には全然手も触れていない憤慨した吉田市議が常磐毎日に抗議を申込んだところ、強口氏や川徳氏も居合せ『悪かつた、取消す』と約束しながら取消しもせず頰かむりをしている。この問題で強口氏は『市役所内部のものが、倉庫からモーターを持ち出したものがある』と知らせるものがあつたので書いたのだが吉田君には気の毒だつたと語つている。誤報が判つたら取消すとか訂正するのが新聞道義である。これをやらぬ磐毎は暴力新聞でなくて何んであろう もつとも最初からウソ、デタラメをデツチ上げているのだからこれは別問題か？

× ×

優良炭鑛を表彰

近く表彰式を擧行

東京鉱山保安監督部平支部では二十六年度鉱山保安優良表彰者として中央表彰者をこの程次の通り推選、資源庁に上申したが、九月末ころに決定の見込み、なお地方表彰者は次の通り決定、近く平市労働会館に表彰式を催す

【中央表彰】

▼炭鉱 関本炭鉱▼個人 高萩炭鉱保安管理者柳沢良助▼従業者 関本炭鉱真壁運三郎 好間炭鉱熊田義雄 常磐炭鉱吉田伝▼発明者 常磐炭鉱渡辺正▼団体 赤井炭鉱落盤防止対策委員会

註＝発明者表彰は今年から行われるが渡辺氏は救命器の気密漏曳検査器を発明した

【地方表彰】

▼炭鉱 望海、常磐炭鉱磐崎坑、重内、小田、日曹赤井▼個人 中川原覚（日曹赤井）遠藤章（小田）小山弁一（品川黒田）果金文次郎（櫛形）宮崎諒（重内）小林世志三郎（常磐）▼従業者 山野正久（重内）矢部春吉（常磐）・大谷周助（日曹赤井）長谷川周助（日曹田阿仁太郎（重内）吉田久三郎（隅田川）渡辺一江（好間）中畑清（大日本勿来）森重喜（くし形）高橋宗次郎（大昭）坂垣三郎（高萩）羽田房次郎（大畑）大坪毅（茨城）須藤多十郎（同）柏本末治（常磐）遠藤辰一（同）宮本国三郎（同）野木喜太郎（小野田）折笠三郎（小田）千葉鶴右衛門（望海）▼団体 常磐炭鉱保安委員会 重内炭鉱保安委員会

送電のお知らせ

明三十一日（金曜日）は休電の予定でありましたが都合により送電することになりましたのでお知らせいたします

昭和二十六年八月三十日

東北電力株式会社平營業所

御需用者各位

猿ぐつわして暴行

被害者は小學女生徒三名

田人の色魔少年擧る

女学生や人妻を襲つて暴行を加えた稀代の色魔が平地区署に逮捕されて娘を持つ親、妻ある夫をがく然とさせたが、今度は田人村で十七才の少年が小学四年の女生徒の帰校を持ちぶせて暴行を加えたという事件が起つた＝田人村黒田農業吉田幸吉（一七）＝仮名＝は二十八日午後五時ころ学校帰りの同村学田人農業大平半平（四〇）さん四女（九つ）＝小学四年＝を同村字平石地内の山林で暴行を加え更にそこを通りかかつた同村字出田人農業大平栄太郎さん三女（九つ）＝小学四年＝をも山林に引きずりこんで、手拭でサルグツワをして暴行を加えたことが判り廿日植田地区署から身柄を送検されたが、同人の自供によれば旧のお盆にも同様手段で十二、三才位の少女に暴行を加えたといつている

あすの緊急停電取止め

降雨のため

二十八日夜から二十九日夜にかけて降つた雨は浜通り方面に三十五乃至四十ミリでこのため予定していた明三十一日の緊急停電を取りやめることになつた、この雨で十六カ所の水力発電所が五万キロワツトの発電可能となり、電力事情が稍々良くなつたので他地方への送電を止めて危機に瀕した常磐炭田の排水事情を向転させようとするもの

トンネルで轢死

三十日午前八時半ころ平市鎌田町小山下地内の常磐線小山下トンネル入口附近に三十才前後の一見労働者風の男が轢死体となつているのを発見、平市署で調べたが身元不明、白丸首シャツ、紺色のズボン、ゴム長靴の姿でサンプラ四本の歯がある、同朝四時ころ下り二一列車（平発三時五十五分）に轢かれたらしい、なお同トンネルでの轢死はこれで二人目、他殺の跡はない

天気予報

三十日

【今晩】北よりの風曇がち殊によるとニワカ雨

【明日】朝の中北の風雲多く日中南の風となり晴る、海上は多少波立つてるが大した事なし明日は穏か明後日は再び波立つ

風味 やぶそば 名代ひやむぎ
江戸前 立喰 寿し
【出前迅速】
新扇屋
平市中央通り 電八八六

にきび いぼ
オーラム
キン B
平市銀座
あこう薬局
ほくろ そばかす

利廻りの良い
満期と金額の自由な
積立定期預金
日本勧業銀行平支店

お電話で直ぐお迎ひに参ります!
國鐵推薦旅館 小瀧 福島縣小名濱港 電話・一〇一番
清涼の小瀧へ…どうぞ!!

こんなお方におすすめしたい
一、夏やせするお方
一、夜ふかし、寝不足で疲れるお方
一、野球、水浴等スポーツするお方
一、いつもよく頭をつかうお方
一、いつもよくつかれてだるいお方
◇一服ですぐキキメのわかる…五日分九五円
武田薬局
平市材木町聚楽館前電709

天丼を始めました
◇出前は迅速にお届けいたします
蒲焼 寿司の江戸川
平才槌小路電1021

靴
専門店
菊一
平市三丁目電446

三者合同の懇談會

平二小では学区内を十八地区に分け地区内の児童父兄が集会し児童教養、社会教化問題に就き連絡懇談し、児童の善導、父兄の教養、及び厚生娯楽を通し父兄、児童、教師、三者の親睦を図るため去月二十六日から母子学級を開催して来たが二十七日盛会うちに終了した、内容は児童レクリエーション幻灯、紙芝居、児童父兄懇談、父兄、教師懇談など（写真はその楽しい懇談会の一とき）

二百十日を憂慮 水害對策の万全へ

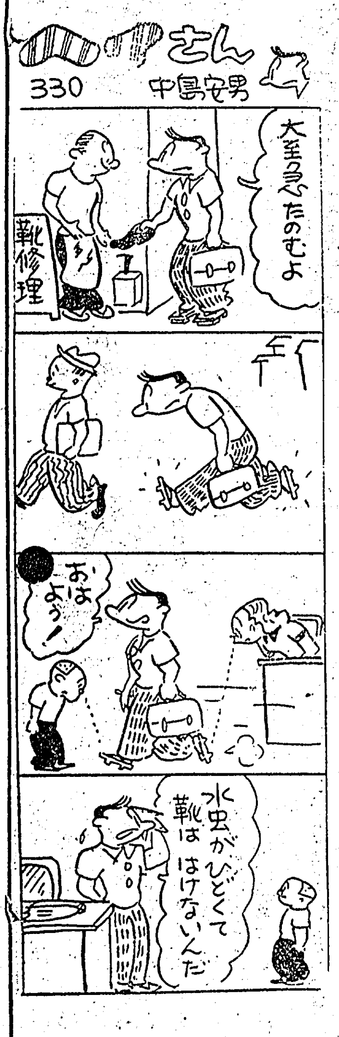
石城地方事務所経済課では二百十日（九月二日）を前に控えて県から水害対策に万全を期す様にとの指示を受けた、県の連絡によると『九月中にはひどい豪雨があるかも知れない、だが温度は平年より幾分高いからそう心配する程でもない』―といつて来ているが、石城地方は百ミリ程度の降雨だつたら各河水は減水しているので水害もそう恐れないが百二・三十ミリとなると夏井川のはん濫は必至とみている

地方事務所では食糧事務所との調査結果を総合し現在の稲作状況を作付総面積八万二千七百五十六反、反収二石一斗二升の収穫予想で十七万六千百八十七石とみているが、これは平年作より『やゝ不良』で昨年度（平年作）の九十七%に当つている、現在出穂しているのは全体の五分ノ一程度で九重、農林十号、三十号、四十七号、二十一号、陸奥百三十二号、平井一号などで他は晩生となつており九月四五日ころから出穂始めるのでこれが二百十日に前後しているため農民の気ずかいは大きい様である

山村十五校の研究大會

一日渡戸校

教組石城支部第一方部では九月一日午前十時から渡戸小学校で山村の十五校を集めて山村に於ける新教育の現状と其の反省についての研究大会を開く、尚当日三名の代表を選出八、九の両日湯本公民館で開く支部教育研究大会に送[illegible]


さん
330
中島安男
大至急たのむよ
靴修理
おはよう！
水虫がひどくて
靴ははけないんだ

各區代表選手が出場 脚自慢自轉車競走

九月競輪開催中に大會開く

平自転車商組合では市の後援で十四日から開催される第八回市競輪宣伝の一策として十四、十五、十六の前節三日間、二十二、二十三、二十四の後節三日間と前後節を通じ市内各区代表三名による素人脚自慢実用車競走大会を開催する

競技は各区代表三名なければ出場欠格で個人、団体のレースが行われる、自転車は二十六吋の実用車（軽快車のぞく）で申込みは平市立町平自転車商組合事務所まで、申込手数料は一団体（三名）百円で締切りは九月八日、参加賞、個人、団体賞がある、現在市競輪場は雨天の日を除き各区代表候補が猛練習を行つて、

結核の健診

あす小名濱

平保健所小名浜分室では結核予防法改正に伴う第一回健康診断、レントゲン検査を廿一日午前十時から小名浜町第一小学校講堂で実施する、受診者には別に制限がなく手数料は二十円

納稅宣傳塔

地事所で建設

石城地方事務所税務課では管内の二十六年度分第一期県税（事業税特別所得税）総額六千万円を九月十日の期限までに完納させようと同事務所玄関前に高さ三米ほどの『完納で明るい郷土を作りましょう』と標語を書き入れた宣伝塔を建て納税者に早期完納を呼びかけている、尚同課では二十九日から納税に関する苦情相談所を設けて相談に応じている

鮫川漁協組合

來月法的に新發足

植田町の鮫川漁業協同組合は組合員三百余名を算し一カ年七、八十万円の予算で維持されて来たが、該組合は単なる申合せ的組合で当然漁業法の改正に依つて改組に迫られたので去る二十八日植田町役場内で総会を開き改組に関し協議した結果、現組合を解消し新に法人組織に決定、目下組合規約の制定、予算及び専用漁業権の確立、更に事業面では養殖等に関し内容を充実し来月中に鮫川漁業協同組合として発足することになつた、資格調査の上県より保償金として概算百六十余万円を交付する旨の通知に接している

豐間小作品展

豊間小学校及び同校PTA主催の夏休み課題の児童作品展覧会は二十八日同校で盛大に行われたが、国鉄平営業所から無料貸出した鉄道観光ポスター百二十点は目を惹いた

習字研究會開く

教組第三方部では三十日午前九時から大浦小学校で習字の研究会を開いた

不良化防止へ父兄の要望

内郷町公民館少年愛護連盟共催の不良化防止懇談会は去る一日から二十八日まで毎日午後七時から三十二地区の部落館に盛大に開催した、父兄の声次の通り

▼児童福祉施設の強化▼少年会仲好会指導者の教養を高め青少年の愛護善導の徹底を期すため講習会を開催すること▼悪友に対し個人的に忠告することは理想だが現実的には困難な業であるから防犯組合の組織を強化し組織の力をバツクにして忠告を行い善導策を講ずること▼学校と家庭が分離せず連絡を強化し親睦を通して観察保護する▼各種遊戯場には十八才未満の者入るべからずとしてあるが業者は一般的に児童の出入に無関心で営利本位になつているところがあるから警告を発すること▼成年の無責任な言動が少年に対する影響感化力が大きいから先ず成人教育の徹底を図る▼少年の金へん泥が多いが古物商に教唆的な点なきにしもあらずで家庭のものか他から持つて来た品物であるか位は区別つくのだから不問に附さず協力的になつて欲しい▼学問的理論的教育よりも紙芝居、幻燈等により美的情操的教育を重点的に実施し漸進的に精神の昂揚を図り良心の陶やを図つて欲しいなど

水泳界のホープ

女ターザンあがる

四倉町署では二十九日四倉高校二年生（一七）を窃盗容疑で検挙した、同女は女ターザンと云われる県女子高校水泳界のホープで過般若松市で開かれた県下大会でも優勝し東北大会新記録二つの保持者で去る昨年四月ごろから四倉町だけでも九件の空巣を働き現金三千八百円、時計、万年筆、其の他を盗んでいる

猪狩、都築兩君 縣代表選手に

第六回国体夏季大会は九月二十一日から四日間呉市営プールで開催されるが、本県選手選考委員会では二十七日代表選手十二名を決定発表した、本郡からは磐高のホープ猪狩邦太郎、都築幸雄の両選手が男子高校八百米リレーに出場することになつた

體育に功勞

二名を推薦

県教委では来る九月十五日から三日間白河、郡山の両市で開催される県綜合体育大会秋季大会開会式場で本年度の体育功労者並びに体育優良団体を表彰するが本郡関係では個人の部、平庭球クラブの根本武雄氏、団体の部、常磐炭鉱行事部が表彰候補として推薦された

電話競技會

入賞者決る

平電話局の電話競技会は二十九日午前九時から平局で開き各種目に好成績を示めした、成績次の通り

▼ブラツキング 一等吉野菱子、遠藤スミ子組、二等山﨑喜美子、阿部モト子組、三等神場イネ子、滝田キヨ子組

▼交換証作成競技 一等池津貞子、二等武藤悦子、三等江尻貞子

▼交換用語語調（市内）一等坂本文枝（平）二等小口和子（小名浜）三等橘内ミヨ子（平）―（市外）一等坂本文枝、二等森下貴久子、三等荒川ミツエ

▼電信 一等志賀サダエ、人見絹子組

赤井青年會の貯金横領

赤井村窪田七二無職羽賀昭夫（二三）は同村青年会班長の地位を利用し昨年四月ころから二回に亘り青年会員の積立金二千七百七十円を横領、遊興費に当てていた疑いで二十八日平地区署に捕まつた

自轉車泥送検

内郷町宮前田土工小貫光男（二二）は去る二十六日夜沢渡村公吏若松緑さん（五八）の中古自転車一台（六千円相当）を盗んだ疑いで二十八日平地区署から送検

保菌者八名

渡戸で發見

永戸村渡戸字高野青木ミツ子ちやん（五つ）は去る二十四日疫痢で隔離したが、平保健所では二十七日附近の六世帯約三十名の検便を行つたところ保菌者八名を発見隔離した、更に二十九日附近部落の二十世帯約百五十名についても検便を行つた、保菌者左の通り

同字青木元近（六〇）青木岩（一〇）青木光国（八つ）細谷久安（五〇）細谷良彦（三九）細谷八重子（三七）青木チイ子（一九）

傳染病

▼平市八幡小路二三植原栄枝（一六）同三﨑町一中里幸彦（一七）同堤内二四吉田一三（一三）の三名は二十六日疑似赤痢で隔離、また小名浜町なぎさ一一細田広（三つ）ちやんは疫痢で同日死亡した

▼内郷町白水字高倉一玄葉ヨシイ（七つ）さんは二十六日赤痢で隔離された

▼勿来町出蔵二〇小松恵美子（二つ）同町白米字林中一関部シツ子（三三）川部村小玉伊藤正一（三つ）の三名は赤痢、下小川村柴原字宮沼四一吉田ヤイ子（四つ）は疫痢で二十七日それぞれ隔離

時計泥

茨城県多賀郡南中郷村石岡常磐炭鉱支柱夫戸瀬惇（二四）は去月十八日午前一時ころ湯本町浅貝常磐炭鉱捲揚場から中三針時計二千五百円相当を盗み二十八日湯本町署に捕まつた

『虹』を發刊

伊藤爽山子主宰『虹』創刊号がこのほど発刊された、虹俳句会の作品集で謄写版ずり表紙とも十二頁連絡は好間村北好間平場阿部秀坊子あて

はいから

好きなあなたとなら火の中水の中手鍋さげてもいとやせぬとばかり内郷町高坂字御殿一無職杉本とし子（二五）は夫一夫（三四）さんを捨て、東京から帰郷したばかりの一夫さん実弟清（二二）と手に手をとつて去る二十四日家出したが、無一文となり飲まず喰わず山に寝、野に伏し三日間さまよつた末悲鳴をあげて二十七日夜内郷町署に保護方を願い出た、吾が身を救つてくれる神や仏は世間にはいませんとは二人のいつわらぬ述懐とか

ラジオ

JOCP JOHQ ローカル 平放送（31日）

前七・一五 池ノ台談話室『サンフランシスコの思い出』元郡山市長伊藤七司

前一〇・一〇 夏休ラジオクラブ『合唱 螢外』田村郡常葉町小児童

後六・三〇 お茶の間学校『婦長にきく二十年の体験』郡山寿仙堂病院石田ハツイ

後七・三〇 郷土の夕（一九二）『パンとミルクと子供たち』郡山市橘小にて録音

洋服・服地・洋品・革カバン
鈴木勘氏商店
平市三町目平和通・TEL732

洋服は赤かや

外勤職員採用
第一生命平支部
平市南町七一 電話三二〇番

第10回 利廻がよくて楽しめる！
東邦の宝定期
特賞 10萬圓 4本
抽せん9月15日 無税 空くじなし
東邦銀行

夫の立場!! 妻の場合!! 幸福な新婚生活の夢を破る小さな嵐!! あなたの家庭生活にもこんな問題はありませんか？
離婚結婚
佐野周二 角梨枝子
桂木洋子 村田知英子
31日より 平舘
31.1.2日 ナイトショウ
フランス映画
肉体の罠
たれこめる濃霧の濁流に呑まる宿命の愛慾繪圖!!
夜九時半上映開始

新輸入原料製品
高級
リスカレー
最高の品質を御賞味下さい
姉妹品＝リスコショー リス洋カラシ

ホーム石鹸